

木の椅子デザイン講習会「異素材を組み合わせた椅子」

開催日 2014年11月15日(土) 午後1時から5時まで

会場 松本市 長野県工業技術総合センター

参加者数 50名 (須藤、太田、田島、狐崎、谷、山本 他44名)

報告者 山本俊一

<講師>

島崎信(椅子研究家・武蔵野美術大学名誉教授・NPO 法人東京生活デザインミュージアム理事長)

過去の名作から学びつつ、時代に合わせて、オリジナリティを出すこと。今後は異素材の組み合わせにも挑戦して欲しい。

名作椅子8つのポイント

①座り易い②丈夫③ものと価格のバランスがとれている④重すぎない⑤正面だけでなく、後ろからも様々な角度からみて美しい。八方美人。⑥時代を象徴するスタンダードという視点と外れるかもしれないが、エポックメイキングが必要(例えば初めて金属を使用したとか)

⑦ロングライフ⑧直しやすく、手入れがしやすい。

リデザイン

デンマークの国民的なイスはYチェアではなく、J39(1947)ポーエ・モーエンセンがシェーカー家具をリデザインして、材料を節約し、手間も少なくして安価でかつ丈夫で美しいイス。デザインの原点。(コンフォルト2014年12月号)

1、多種木材による構成

ウインザーチェア	イングリッシュ	アメリカン
笠木/ボウ	ブナ・アッシュ・イチイ	メープル・オーク・ヒッコリー
スピンドル/スティック	ブナ・アッシュ・チェリー	ヒッコリー
座	エルム	ポプラ・パイン
脚/貫	ブナ・アッシュ・イチイ	メープル・オーク

ジョージ・ナカシマ コノイドチェア ウォルナットとヒッコリー

エンツォ・マーリ 飛騨産業 座はスギ、スピンドルと脚はブナ

2、異素材との組み合わせ

① 籐 エキゾチック、弾力性・通気性あり

ハンス・J・ウェグナー ザ・チェア No.501 1949

ポール・ケアホルム イージーチェア PK22 金属と籐

ハンモックチェア PK24

ナンナ・ディッツェル スウインギングチェア 日本の職人が編む
剣持 勇 ラウンジチェア
コア・クリント イージーチェア 王立芸術アカデミー教授

② 積層合板／成形合板

ジャスパー・モリソン バーチ合板
アルヴァ・アアルト フィンランドの建築家 スツール60
Lレグ スリットを入れる シラカバ材 アルテック社
フリッツ・ハンセン エイトチェア
イルマリ・タピオ・ヴァーラ ドムスチェア スタッキングできる

③ 金属＋木

ポール・ケアホルム PK-11 1957 ステンレス アッシュ
マルト・スタム 1933 カンチレバーチェア (片持ち椅子)
ゲブリュタートーネット社
マルセル・ブロイヤー ワシリーチェア バウハウス
ミース・ファンデルローエ MR20 ゲブリュタートーネット社
ハンス・J・ヴェグナー アームチェア PP701
ロナン&エルワン・ブルレック スチールウッドチェア 座と脚 ビーチ材
スチール取り外し可能
ハイメ・アジョン スチールメッシュとアッシュ

④ プラスチック＋木

チャールズ・イームズ クランブルック美術大学院 シェルサイドチェア ハーマンミラ
ー社 FRP+スチールロッド+アッシュ
川上 元美 YAMAHA
ジャスパー・モリソン ブナ材とポリエステルメッシュ マルニ社

⑤ 繊維＋木

渡辺 力 ひも椅子 1952 荷造り用のひも 座が低く、畳に座った際視線
が合う
松村 勝男 がま椅子 ナチュラルラッシュ、浜松産 カラマツ材
ヘルゲ・V・ジャンセン ラケットチェア 1955 ナイロンガット
新居 猛 ニーチェア キャンバス地 座り心地良し、とにかく安い
城所 右文次 バンブーチェア 1937 三越家具製作所
坂倉 準三建築研究所 竹座椅子 竹の積層合板 天童木工 長大作デザイン
喜多 俊之 竹 クリエイト萩

3、実践例

① 出光氏 軽井沢 座がテグス(釣り糸) コスト安 軽さ 軽快感 ジュエリーショップか
らオーダーあり

- ② 萩原氏 成形合板とアルミ 椅子・スツール
- ③ 前田氏 鉄と木 かなり色々注文を受けている
- ④ 中川氏 カラマツ材の学習机の問題、木製机とスチール机の中間、体に触れる部分は木製で鉄製パイプに木を差し込む。2月28日の技術講習会 塗装で改善点を考えるに期待する。



4、吉野崇裕さんの講演

ハワイ・オーストラリア等海外でも活躍。座禅の際の上半身の位置(肩と腰と耳が揃う)が座り心地が一番良い。ZEN チェア。10年間で800脚つくる。個人の体を微妙な所まで採寸し、その人にあった椅子作り。一人ではなくグループで椅子を作り、採寸した情報をビックデータとしたい。同志を募集している。

